

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	平成23年 7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京都市中京区西ノ京桑原町1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 株式会社 島津製作所 代表取締役社長 中本 晃

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004・JIS Q 14001:2004
適用範囲	島津製作所 本社地区事業所（本社・三条工場、御池地区、瀬田事業所、基盤技術研究所（けいはんな）、紫野工場）
導入年月日	1997年 6月 24日
認証番号	EC97J1031
基本方針	当社本社地区事業所は、機器の開発・製造の拡大に努めるとともに、業務活動、製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、継続的な環境マネジメントシステムの改善により、持続的な環境負荷の低減と汚染の予防、社会の環境改善への積極的貢献を目指して当社本社地区事業所環境方針に基づき活動する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	平成22年度目標 <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーに起因するCO2排出量：21,025t-CO2以下 ・廃棄物（紙類）の分別徹底による非有害物量の削減：2008年度比10%以上削減 ・代替フロン使用量の削減：1998年度比40%以下 ・環境配慮製品の開発：エコラベル適合製品20件以上 ・グリーン調達：材料購入品目のグリーン化68%以上、事務用途品のグリーン購入率92%以上
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量：省エネ活動の継続（不要時消灯、室温適正化など）、設備の更新や改善、クリーンルームの運用改善など ・廃棄物（紙類）：分別の徹底と排出量の把握・管理 ・代替フロン使用量：日々の管理、使用量の把握、代替化による全廃 ・環境配慮製品：省エネプロジェクトの推進と有害物質排除製品の開発の推進 ・グリーン調達：含有物質調査の推進、ネット購買システムの構築
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量：削減施策は計画通りに実施できているが、産業機器の生産増や猛暑の影響などから10月に目標値を21,625t-CO2へ変更した。 ・廃棄物（紙類）：廃棄時に分別の徹底し、非有害物を削減した。 ・代替フロン使用量：計画通り2事業部で代替化による全廃が完了した。 ・環境配慮製品：省エネ4件、有害物質排除16件。 ・グリーン調達：材料購入品目について関係会社、協力会社へ説明をした。事務用途品グリーン購入についてインターネット購入を導入した。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量：実績21,398t-CO2で変更後の目標達成。 ・廃棄物（紙類）：2008年度比で23%削減し目標達成。 ・代替フロン使用量：1998年度使用量の29%となり目標達成。 ・環境配慮製品：20件のエコラベル適合製品を開発し目標達成。 ・グリーン調達：材料購入品目のグリーン化は実績68.7%で目標達成。事務用途品グリーン購入率は実績94.3%で目標達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	平成22年度は、5件（排水1件、騒音2件、毒劇1件、労働安全衛生1件）について法令遵守上の問題が生じたが、これらについては速やかに行政へ報告を行うとともに、原因を特定し対策を実施することで、適正に対応した。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しについては、マネジメントレビューで、1年に1回実施している。平成23年4月18日に開催した環境委員会で、マネジメントレビューを実施し当社本社地区事業所の環境マネジメントシステムの適合性、妥当性並びに有効性は確実に維持していることを確認した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。